

2026年6月18日

広島車両所の大規模改修工事について

当社広島車両所（広島県広島市東区矢賀）は、1943年3月に操業を開始した、当社主力の車両メンテナンス拠点です。このたび建物・設備等の老朽化に伴い、大規模な改修工事を実施します。建物の建替えを含む全面的な改修工事により、労働環境の抜本的な改善や作業効率の向上を通じて、安全・安定輸送を支えるメンテナンス体制を強化します。

1. 背景・目的

広島車両所は当社所有機関車・貨車の全般検査（車両全体を分解する大規模な定期検査）を担う重要な車両メンテナンス拠点です。しかし操業開始から80年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進んでおります。また操業当時のレイアウトを活用してきたため、現状のメンテナンス工程に合わせた効率化が課題となっています。

こうした課題に対応し、今後も安全・安定輸送の維持、継続を図るため、施設・設備の更新および再配置を含めた全面改修工事を実施します。

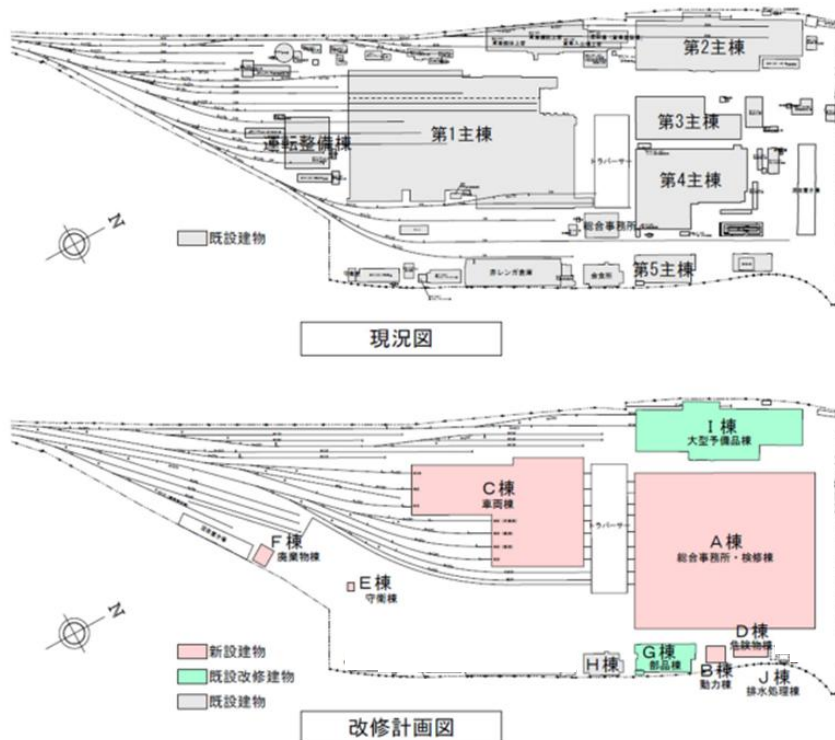
2. 改修工事内容

車両メンテナンスの機能を継続しながら、解体、新築、移設を段階的に実施し、改修工事を進めます。

(1) 主な改修内容

- ・設備、機器の更新
- ・作業環境の整備による安全性・快適性の向上
- ・施設レイアウト改善による作業動線の集約

(2) 改修計画イメージ（レイアウト案）



(3) 工事期間 (予定)
2026年～2035年

3. 広島車両所概要

所在地	広島県広島市東区矢賀五丁目1番1号
開業年月	1943年3月
現状 敷地面積 建物面積 (棟)	約8万㎡ 約3万4千㎡ (約50棟)
主な機能 (当敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・機関車、貨車の定期検査 (対象車両) EF210形式電気機関車 (ECO-POWER 桃太郎) EF510形式電気機関車 (ECO-POWER RED THUNDER) DD200形式ディーゼル機関車 コキ100系コンテナ貨車
沿革	<p>1943年3月 広島鉄道局 広島工機部として業務開始 山陽本線輸送力増強の一翼を担う蒸気機関車の単独工場として発足</p> <p>1950年8月 広島工場へ改称</p> <p>1960年2月 ディーゼル機関車検修開始</p> <p>1962年10月 電気機関車検修開始</p> <p>1964年10月 貨車検修開始</p> <p>1973年9月 蒸気機関車検修終了</p> <p>1985年3月 広島車両所へ改称</p> <p>1987年4月 日本貨物鉄道株式会社関西支社 広島車両所として発足</p> <p>2001年7月 ISO9001 認証取得</p> <p>2005年3月 EF210形式電気機関車検修開始</p> <p>2012年2月 EF510形式電気機関車検修開始</p>

4. 完成イメージ (案)

